

令和5年度(2023年度)市川市立宮久保小学校 学校経営ビジョン

学校教育目標

「夢に向かって挑戦 Challenge for Dream」

～知徳体の調和のとれた人間の育成～

心身ともに健康でたくましく、相手を思いやる豊かな情操をもち、自分で考え判断し、他者と協力し行動できる児童の育成を図る。

1 経営の基本方針

- (1) 自分の良さを生かし、互いに認め合い、学び合い、励まし合うことで、互いに高め合える児童を育成する。
- (2) 児童一人一人の良さや可能性を見出し、引き出し、伸ばす教職員となる。
- (3) 児童の成長のために、全職員が協力・協働する学校を作る。
- (4) コミュニティ・スクールにより「人が人を育てる」「人が人と人をつなぐ」学校づくりを行う。

2 学校づくり推進のためのイメージ像

(1) めざす学校像

- 意欲と活力のある児童と教職員が信頼の絆を深める学校
- 地域に支えられ、地域を支える学校

(2) めざす児童像

- 自ら学び・考え、課題に向かい粘り強く取り組む児童
- 人間性豊かで、礼儀正しく、思いやりのある児童
- 心身ともに健康でたくましい児童

(3) めざす教師像

- 児童の心に寄り添い、一人一人をよく理解し、大切にする教師
- 児童のために、自らの資質向上に努める教師
- お互いを尊重し認め合い、学び合い、仲間とともに高め合う教師

(4) ねがう保護者像

- 子どもの共育のために、教職員と協働・協力する保護者
- 子どもを愛し、責任をもち教育する保護者

(5) ねがう地域像

- 地域が好きになる子どもたち、地域の中で育つ子どもたち、地域を支えていく子どもたちの育成に向けた、共育のできる地域。

3 本年度の経営の重点

「元気 やる気 本気 根気」

- 心と体の元気を第一に考える。
- 児童の好奇心を掻き立て、主体的に取り組む学習の工夫。
- 粘り強く継続的な支援と年間を見通した教育活動の実施。

(1) 確かな学力をはぐくむ

- 基礎・基本の定着を図る。 ○家庭学習の習慣化 ○読書活動の充実
- 主体的・対話的で深い学び実現のための**単元構成** ○**教科担任制の実施**
- 言語への興味・関心を高める取組（百人一首、NIE）**

(2) 豊かな心をはぐくむ

- 児童理解と指導の充実を図る。 ○命を大切にする教育の充実を図る。
- 道徳の時間を中心に学校の教育活動全体を通じた実践力を高める。
- キャリア教育の推進を図る。 ○美しい日本語と言語活動の充実を図る。

(3) 健やかな体をはぐくむ

- 基本的な生活習慣の育成をし、健康教育の充実を図る。
- 正課体育の充実を図る。 ○安全教育の充実をはかる。
- 特別活動の充実に努める。 ○**給食指導を中心に食育の充実を図る。**

(4) 信頼される開かれた学校づくりをすすめる

- 学校からの情報発信（各種便り・ホームページ）の**継続的实施**。
- コロナ以前の活動を取り戻し**、学校公開・懇談会の充実を図る。
- 学校評価をPDCA サイクルで見直し、開かれた学校づくりをすすめる。
- PTA・地域と連携した活動の充実を図る。

(5) コミュニティ・スクールにより、人と人をつなぐ学校へ

- 学校運営協議会の役割について教職員、保護者の理解を深める。
- 学校運営協議会の学校運営への参画意識を高める。
- 地域学校協働本部の活動を推進する。

(6) 教職員が互いに「認め合う」「学び合う」「高め合う」教職員集団になる

- 自分を大切にする、同僚も大切にする、子どもも大切にする。
 - ・**コンプライアンスを重視し、自他ともに大切にしてい**く。
 - ・子どもの個性、環境、背景、心の動きをみとることに努める。
 - ・子どもの良さや可能性を見出し、引き出し、伸ばすことに努める。
 - ・「集団規律」「学習規律」を意識した学級経営、学年経営をできる。
- 学校の実態をとらえ提案**、実践する学校運営参画意識をもつ。
 - ・豊かな経験に加え、新たな取組や提案ができる。
 - ・経験のないことに、主体的に挑戦ができる。
- 働き方改革のできる集団
 - ・業務をスクラップ&ビルドの視点で効率化、合理化し、業務改善を図る。
 - ・モラールアップ委員会を中心にボトムアップ型の提言を基に、職場全体で働き方を推進する。